

# 頰椎椎弓形成術

## 入院診療計画書

病棟 (病室)

疾患名

診断群分類

070341 脊柱管狭窄(脊椎症を含む)頸部

主治医

看護師

リハビリ療法士

栄養士

ID:

氏名:

生年月日:

性別:

項目	入院日	1月1日	1月2日		1月3日	1月4日	1月5日	1月7日	1月9日	1月12日	1月14日	1月16日	1月17日	1月21日
	入院日	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	1日目	2日目	3日目	5日目	7日目	10日目	12日目	14日目	15日目	19日目
目標	□入院・手術の説明がわかる	□手術を受ける準備ができる □不安なく手術を受けられる	□痛みコントロールができる	□痛みコントロールができる □全身状態が安定している □歩行器でトイレに行くことができる	□術後合併症の兆候がない □痛みコントロールができる □頰の装具の着脱ができる							□退院の準備が整う		
内服点滴	現在内服中の薬については指示に従って下さい		指示のある時は手術前に飲む薬があります 点滴開始	痛みが強い時には痛み止めを使います	点滴終了									
検査処置			弾性ストッキングを着用します	足にポンプをつけ血流を促します	採血があります	出血量を見て手術部の管を抜きます	手術創部の確認、処置を行います				抜糸をします 退院前にCTを撮ります			
食事	入院中に栄養士の訪問があります		指定時間まで飲水できます	状態により飲食開始します										
安静リハビリ				ベッド上で安静です	ベットの上で運動を始めます 頰に装具を付けて歩行練習を始めます							階段昇降練習を始めます		退院後の生活についての指導があります
排泄			手術室で尿の管が入ります		尿の管を抜きます トイレ歩行が可能となります									
清潔	手足の爪を切りましょう	入浴かシャワーができます			体を拭きます	手術創部の状態が良ければシャワーができます						入浴ができます		
説明指導	入院・手術についての説明があります	麻酔科医の診察があります	手術室看護師の訪問があります	医師から家族の説明があります	麻酔科医の診察があります	総合評価 □あり □なし								退院指導・服薬指導があります
症状								特別な栄養管理の必要性 □あり □なし	日常生活能力	□問題なし □介助が必要な状態です				
本人・家族の要望									認知機能	□問題なし □不安定な部分があります				
看護計画									気分・心理状態	□問題なし □不安定な部分があります				

本人氏名

親族または代理人氏名

説明日時

20 年 月 日 時

説明医師

続柄:

医療法人社団 整志会・沢田記念

高岡整志会病院

パス-⑥